

## 平成 17 年度（春）教育システム改善のためのアンケート集計結果（簡約版）

### 1. はじめに

本年度のアンケートは、昨年度に引き続いて春と秋の 2 回にわけて実施されました。春のアンケートは、昨年度(平成 16 年度) II 学期に開講された講義への意見に加えて、本コースの学習・教育目標やカリキュラムに関して総合的に問うています。ここでは平成 17 年 4 月に行った春アンケートの集計結果の簡約版を示します。なお、学科関係者（学生の皆さんを含む）はより詳細な集計結果を閲覧できます。詳しくは学科長または学生委員の先生にお問い合わせ下さい。

### 2. アンケートの実施要領

学部 2, 3 および 4 年生を対象としたアンケートは、別紙に示す書式（質問書と回答書）を用いて下記の要領で実施しました。

表 2.1 アンケートの実施要領

対 象	実施日	実施場所	備 考
2 年生	4 月 12 日	C15	実施日の時点では 3 年生だが、2 年後期のカリキュラムに関して問いかけているので 2 年生と表記
3 年生	4 月 14 日	C17	実施日の時点では 4 年生だが、3 年後期のカリキュラムに関して問いかけているので 3 年生と表記
4 年生	4 月 18 日	特になし	各自配布

### 3. 集計結果

#### 3.1 回答者に関して（設問 1）

設問 1 は回答者自身に関する情報を得るために設けたものであり、小設問 (1) では「学年・身分」について、小設問 (2) では「進路希望」について問うています。表 3.1.1 に小設問(1) への回答の集計結果を示します。表 3.1.1 に示されるように、全ての学年において総人数の 80%以上の回答が得られました。

表 3.1.2 に小設問 (2) への回答を示します。2 年生では全体の 30%程度の学生が就職を希望しているのに対し、3 年生ではほとんどの学生が大学院進学を希望しています。4 年生に関しては、実際にはほとんど全ての学生が大学院に進学していますが、4 月以降にアンケートを実施したために、ここでは大学院修了以降の進路について回答した学生が多いと考えられます。

各学年における進学・就職希望の割合はほぼ例年通りであり、ここ最近の進路に関する学生の意向には、あまり変化がみられません。

表 3.1.1 設問 1 (1) への回答集計結果

	A (学部 2 年生)	B (学部 3 年生)	C (学部 4 年生)
総数	30	31	24
回答者数	27	25	24
回答率	90	81	100

表 3.1.2 設問 1 (2) への回答集計結果

A (学部 2 年生)	B (学部 3 年生)	C (学部 4 年生)
未定	営業職に就職	就職(メーカー)
社会学系大学院進学	大学院進学	就職・民間企業又は公務員
できれば就職	大学院進学	就職・民間企業
就職	大学院進学	機械メーカー(自動車関連)
大学院進学	大学院進学	大学院進学
大学院進学	公務員、環境系の部署	電気系メーカー希望
接客業	大学院進学(博士課程まで)	留学・就職
技術者として就職を希望	大学院進学	公務員又は会社員
環境関連の技術者	大学院進学	民間企業
消防	大学院進学	就職
警察	大学院進学	公務員
環境関連の会社等	公務員	機械関係
大学院進学	大学院進学	公務員
大学院進学又は企業就職	大学院進学	大学院進学
大学院進学	大学院進学	大学院進学
大学院進学	公務員	エネルギー関連の研究者
就職	就職	一般企業
大学院進学が公務員	大学院進学	大学院進学
大学院進学、就職	公務員	環境関連の研究者
大学院又は研究員として就職	大学院進学	資源関係
進学又は自動車会社	記入なし(5名)	記入なし(4名)
大学院進学		
大学院進学(他大学, 外国)		
大学院進学		
記入なし(3名)		

### 3.2 学習・教育目標への評価 (設問 2)

設問 2 では、「学習・教育目標」に関して、以下の小設問に対する回答を「はい」「いいえ(理由)」の 2 択で問うていきます。

- (1) 本学科の特徴(とあなたが考えるもの)が十分に反映されていますか？
- (2) 評価水準や講義の専門性・幅の広さ、教育ポリシーなどは社会の要請(とあなたが考えるもの)に対してほぼ適合していますか？
- (3) 本学科の学生の資質(知識レベルなど)に対して適切に設定されていますか？
- (4) 本学科の卒業生の進路(学生の方は希望進路)に照らし合わせて適切に設定されていますか？

また、小設問 (5)では、「学習・教育目標」に関するその他の自由意見を募っています。

表 3.2 は、小設問(1)～(4)に対する回答の集計結果です。いずれの小設問に関しても、「はい」と答えた人の数が「いいえ」と答えた人数を大きく上回っており、昨年度までのアンケートと同様に、「学習・教育目標」は概ね肯定的に評価されていることがわかります。

本設問は「学習・教育目標」に対する評価を問うたものですが、「いいえ」と答えた人が挙げた理由は、ほとんどがカリキュラムや講義内容に対するコメントでした。その中でも「もっと語学の講義を増やして欲しい」など、「国際的に通用する～」の部分に関連したカリキュラムへの不満を記入している人が多く見られました。

表 3.2 設問 2 (1)～(4)への回答

	2 年生				3 年生				4 年生			
	はい	いいえ	無回答	合計	はい	いいえ	無回答	合計	はい	いいえ	無回答	合計
(1)	21	5	1	27	19	4	2	25	22	2	0	24
(2)	22	4	1	27	21	2	2	25	20	4	0	24
(3)	24	2	1	27	21	2	2	25	23	1	0	24
(4)	22	3	2	27	18	5	2	25	22	2	0	24

### 3.3 カリキュラムに対する評価（設問 3）

設問 3 では、カリキュラムに関して以下の 9 つの小設問を設けて質問しました。なお、いずれの小設問についても複数回答可としており、小設問 (2)～(5)に関しては「受講していなくても一般的な見地から可能な限り答えるよう」に指示しました。また (6)～(8)に関しては前年度(平成 16 年度)II 学期に受講したものののみ回答するように指示しました。

- (1) 受講したことがある科目に○を付けてください。
- (2) 現在あるいは将来、あなたの専門・仕事に直接役立つと考えられる科目に○を付けてください。
- (3) 専門を問わず、技術者・研究者・社会人の一般的素養として必要だと考えられる科目に○を付けてください。
- (4) 現在のカリキュラムにある科目のうち、必ずしも必要とはいえないが選択肢として受講できるようにしておくことは妥当だと思う科目に○を付けてください。
- (5) 現在のカリキュラムにはないが、必要であろうと考えられる科目や学習内容（「こんなことを勉強したい」「世の中に出たときに役に立つのに、なぜないのか」というようなもの）があれば、記入してください。
- (6) 授業の内容・方法等がすばらしかった科目があれば、「科目番号」を記入して「どのようにすばらしかったのか」をできるだけ具体的に述べてください。  
例：「高度な内容にもかかわらず授業の構成が上手で理解しやすかった」「実物に触れる機会が多く、具体的だった」「厳しかったが熱意を感じ、やる気がでた」「質問に対して的確に誠意をもって返答してくれた」「ユーモアにあふれ退屈しなかった」等々
- (7) 授業の内容・方法等に問題を感じた科目があれば、「科目番号」を記入して「どんな問題があったのか」をできるだけ具体的に述べてください。また、「問題の解決法・改善策」について意見のある方は、これについても述べてください。  
例：「むつかしすぎて（勉強したにもかかわらず）ついていけなかった」「簡単すぎる」「シラバスと授業内容が全く異なる」「欠講が多い」「板書をもっと整理すべきだ」「声がきこえない」「駄洒落はいらぬ」等々
- (8) 成績の評価に疑問を感じた科目があれば、「科目番号」を記入し、「その理由」をできるだけ具体的に述べてください。  
例：「ほとんど出席していないのに優だった」「友だちより出席・テストいずれもがいいはずなのに彼は優で私は可だった」「授業に出ていない内容がテストに出た」「成績が入っていない」
- (9) その他、「カリキュラム」に関してご意見があれば自由に述べてください。

表 3.3 に小設問 (1)～(4) および小設問 (6)～(8) に対する回答の集計結果を示します。小設問(1) に関する集計結果より、開講されているほとんど全ての選択科目で履修者がいることがわかります。また小設問(2)～(4) に関する集計結果からは、カリキュラムにある科目がいずれも「専門・仕事で役に立つ」「技術者の素養として必要である」あるいは「選択科目として妥当である」科目として認められていることがわかります。

「現行のカリキュラムにないがあればよいと思う科目」に関して問うた小設問(5)に対しては、語学演習(英語)を挙げている学生が多く、より一層国際社会を意識した教育を求めている学生が増えていることがわかりました。その他の回答は法学、生物学、経済学などさまざまでした。

小設問(6)は、「授業の内容・方法がすばらしかった科目」を問うたものでしたが、ほぼ半数の講義が何らかの理由で、「すばらしかった」との評価を得ています。授業内容に関して最も多かったコメントは、「ユーモア・面白さ」、次いで学生の授業における「主体性」(演習、プレゼン、実際に目で見る・触れるなど)、「授業のわかりやすさ」などが挙げられており、これら3点のコメントが、高評価の講義全体に共通してすばらしかった点として挙げられていました。その他、「先生に熱意がある」、「黒板が見やすい、丁寧」などの意見もありました。

小設問(7),(8)では、「内容・方法に問題を感じた科目」「成績評価に問題を感じた科目」をそれぞれ挙げてもらいました。表に示されているように、(7)もしくは(8)の指摘を受けたのは54科目中22科目となっており、この結果は昨年度のアンケートとほぼ同数でした。しかしながら、昨年度問題があると指摘された講義のうち、本年度も指摘を受けた講義は半数程度(12科目)となっています。したがって、昨年度指摘を受けた科目の半分は内容が改善されたものの、新たに問題があると指摘された科目が同数程度増えたと判断できます。小設問(7),(8)の内訳をみると、(7)は合計49名の学生からの指摘があるのに対して、(8)は12名からの指摘がありました。すなわち学生の不満は成績評価よりも授業内容に集中していることがわかります。問題があると指摘された講義の「授業内容・方法」に関するコメントとしては、「説明不足」、「声量の不足」、「板書が読みづらい」などが主に挙げられ、この他には「何を学んでいるのかわからない」という意見もありました。

小設問(9)ではその他カリキュラムに対する生徒の自由な意見を求めたものです。出された意見の大半が2年生によるもので「2年生が暇すぎるので講義数を3年生と均一にして欲しい」「学年によって講義数の差が激しすぎる」などという意見でした。

表 3.3 設問 3 (1)～(4), (6)～(8)に対する回答の集計結果

科目番号・科目名	単位数	必修・選択	学年・学期	講義・演習・実験の別	2年生								3年生								4年生								回答欄(合計)							
					(1)	(2)	(3)	(4)	(6)	(7)	(8)	(1)	(2)	(3)	(4)	(6)	(7)	(8)	(1)	(2)	(3)	(4)	(6)	(7)	(8)	(1)	(2)	(3)	(4)	(6)	(7)	(8)				
1 応用数学 I	2	必須	2・I	講義	25	6	17	4	3	0	0	18	10	15	3	0	0	0	23	12	18	2	1	0	1	66	28	50	9	4	0	1				
2 応用数学演習 I	1	必須	2・I	演習	26	7	10	4	1	0	0	18	9	9	4	0	0	0	23	10	15	2	1	0	0	67	17	34	10	2	0	0				
3 基礎図形科学	2	必須	1・I	講義・演習	27	5	6	4	0	0	0	18	4	5	6	0	0	0	23	5	9	5	0	0	0	68	14	20	15	0	0	0				
4 応用図形科学	2	選択	1・II	講義・演習	14	4	3	5	0	0	0	14	0	2	4	0	0	0	11	2	3	5	0	0	0	39	6	8	14	0	0	0				
5 応用数学 II	2	選択	2・II	講義・演習	23	4	9	7	0	0	0	18	8	13	3	0	0	0	19	8	11	4	0	0	0	60	20	33	14	0	0	0				
6 システム工学概論	2	選択	3・I	講義	0	1	2	3	0	0	0	18	3	6	5	0	0	0	16	6	8	4	0	0	0	34	10	16	12	0	0	0				
7 現代物理学概論	2	選択	4・I	講義	0	0	1	3	0	0	0	4	0	3	6	0	0	0	18	7	9	6	0	0	0	22	7	13	15	0	0	0				
8 エネルギー工学概論	2	選択	2・II	講義	24	5	8	6	0	2	0	18	4	9	6	0	0	0	22	11	8	5	0	0	0	64	20	25	17	0	2	0				
9 機械工学概論	2	選択	3・I	講義	2	2	3	3	0	0	0	18	3	8	5	0	0	0	11	5	7	4	1	0	0	31	10	18	12	1	0	0				
10 現代化学概論	2	選択	2・II	講義	24	3	6	6	0	1	1	17	2	5	6	0	0	0	22	7	10	4	0	0	0	63	12	21	16	0	1	1				

11	生物工学概論	2	選択	3・I	講義	0	3	2	3	0	0	0	17	3	5	5	0	0	0	16	4	5	4	0	0	0	33	10	12	12	0	0	0	
12	生体工学概論	2	選択	3・II	講義	0	4	3	3	0	0	0	22	4	4	7	2	0	1	18	2	4	5	1	0	0	40	10	11	15	3	0	1	
13	環境工学概論	2	選択	3・II	講義	0	6	6	6	0	0	0	24	5	9	5	0	0	0	21	7	8	7	0	0	0	45	18	23	18	0	0	0	
14	都市学概論	2	選択	4・I	講義	0	3	3	5	0	0	0	1	1	2	4	0	0	0	18	3	6	6	0	0	0	19	7	11	15	0	0	0	
15	材料工学概論	2	選択	3・II	講義	2	5	2	3	0	0	0	25	9	8	6	0	0	0	15	5	6	5	0	0	0	42	19	16	14	0	0	0	
16	社会学入門Ⅰ	2	必須	1・I	講義	26	8	8	3	0	0	0	18	6	7	3	1	0	0	23	10	12	0	0	0	0	67	24	27	6	1	0	0	
17	社会学入門Ⅱ	2	必須	1・I	講義	26	9	8	2	0	0	0	18	6	7	3	1	0	0	23	10	12	0	0	0	0	67	25	27	5	1	0	0	
18	コンピューティング演習(資源)	1	必須	2・I	講義・演習	25	8	14	3	0	1	0	17	10	8	4	0	0	0	23	9	11	2	0	7	0	65	27	33	9	0	8	0	
19	構造力学Ⅰ	2	必須	3・I	講義・演習	1	2	2	0	0	0	0	19	9	6	4	1	1	0	23	9	11	0	1	0	0	43	20	19	4	2	1	0	
20	土の力学Ⅰ	2	選択	3・II	講義・演習	0	1	2	1	0	0	0	21	8	4	4	3	1	0	22	8	7	4	0	0	0	43	17	13	9	3	1	0	
21	コンストラクションマネジメント	2	選択	4・I	講義	0	2	2	2	0	0	0	0	3	2	2	0	0	0	7	4	7	2	1	0	0	7	9	11	6	1	0	0	
22	気象学	2	選択	4・I	講義・演習	0	2	2	5	0	0	0	0	1	1	8	0	0	0	13	2	6	4	1	0	0	13	5	9	17	1	0	0	
23	数値計算法及び演習	1	必修	2・I	講義・演習	25	6	9	4	0	3	0	18	7	7	6	0	0	0	23	7	10	1	0	3	0	66	20	26	11	0	6	0	
24	地球科学	2	必須	2・II	講義	27	6	5	4	0	3	2	17	3	6	4	0	0	0	23	10	10	1	0	2	0	67	19	21	9	0	5	2	
25	地球科学実験	1	必須	3・I	実験	0	3	0	1	0	0	0	17	3	4	2	0	0	0	23	8	7	1	0	0	0	40	14	11	4	0	0	0	
26	応用地質学	2	必須	3・I	講義	0	2	2	0	0	0	0	19	4	5	3	0	0	0	23	9	7	0	0	0	0	42	15	14	3	0	0	0	
27	物理化学	2	必須	2・I	講義	25	22	12	2	6	1	0	17	11	10	3	0	0	0	23	15	13	0	5	1	0	65	48	35	5	11	2	0	
28	物理化学演習	1	必須	2・II	演習	27	20	11	1	6	0	0	18	10	7	3	0	0	0	23	13	10	0	0	1	0	68	43	28	4	6	1	0	
29	固体力学	2	必須	2・II	講義・演習	25	10	9	2	1	1	1	19	6	8	4	0	0	0	23	10	12	0	0	0	0	67	26	29	6	1	1	1	
30	流体力学	2	必須	3・I	講義	1	2	4	0	0	0	0	19	11	12	3	1	0	0	23	11	15	0	0	0	0	43	24	31	3	1	0	0	
31	流体工学演習	1	必須	3・II	演習	0	1	2	0	0	0	0	24	8	7	3	1	0	0	23	9	12	0	0	0	0	47	18	21	3	1	0	0	
32	熱力学	2	必須	2・II	講義	26	15	15	2	2	1	0	19	13	12	5	0	0	0	22	11	13	0	2	0	0	67	39	40	7	4	1	0	
33	熱力学演習	1	必須	3・I	演習	4	2	2	0	0	0	0	20	8	7	4	0	0	0	22	9	12	0	1	0	0	46	19	21	4	1	0	0	
34	計測工学	2	必須	2・II	講義・演習	25	7	9	2	1	1	0	19	7	7	4	0	0	0	23	6	10	1	1	1	0	67	20	26	7	2	2	0	
35	計測工学実験	1	必須	3・I	実験	1	2	2	0	0	0	0	19	5	5	3	0	0	0	23	6	8	1	1	0	0	43	13	15	4	1	0	0	
36	機械要素及び製図	2	必須	2・II	講義・演習	26	9	8	3	0	2	2	18	3	6	3	0	0	0	23	4	8	2	0	0	0	67	16	22	8	0	2	2	
37	粉体工学	2	必須	3・I	講義・演習	0	5	3	0	0	0	0	19	10	6	3	2	0	0	0	23	10	12	0	0	0	0	42	25	21	3	2	0	0
38	粉体工学実験	1	必須	3・I	実験	0	3	1	0	0	0	0	19	7	4	3	0	0	0	23	9	9	0	0	0	0	42	19	14	3	0	0	0	
39	岩石力学	2	必須	3・I	講義・演習	0	2	2	0	0	0	0	19	4	6	3	0	0	0	23	8	12	0	0	0	0	42	14	20	3	0	0	0	
40	岩石力学実験	1	必須	3・II	実験	0	2	1	0	0	0	0	25	5	6	4	1	0	0	23	7	11	0	0	1	0	48	14	18	4	1	1	0	
41	資源開発学	2	必須	3・I	講義	2	8	4	1	0	0	0	18	8	6	4	0	0	0	23	10	9	1	0	0	0	43	26	19	6	0	0	0	
42	地殻システム工学	2	必須	3・II	講義・演習	0	3	3	0	0	0	0	24	9	5	5	2	0	0	23	10	10	2	1	0	0	47	22	18	7	3	0	0	
43	開発機械学	2	必須	3・II	講義	0	1	2	0	0	0	0	24	6	5	3	2	0	0	23	7	7	2	0	0	0	47	14	14	5	2	0	0	
44	卒業論文	10	必須	4・II	研究	0	3	4	0	0	0	0	0	5	3	1	0	0	0	23	14	12	0	1	0	0	23	22	19	1	1	0	0	
45	火薬及び爆破工学	2	選択	4・I	講義・演習	0	2	0	3	0	0	0	2	2	2	3	0	0	0	11	5	6	6	1	0	0	13	9	8	12	1	0	0	
46	土の力学Ⅱ	2	選択	4・I	講義・演習	0	0	2	1	0	0	0	3	1	0	3	0	0	0	12	5	4	5	0	0	0	15	6	6	9	0	0	0	
47	建設材料学	2	選択	2・II	講義・演習	19	1	2	6	0	3	1	18	5	5	5	0	0	0	9	2	6	4	0	0	0	46	8	13	15	0	3	1	
48	環境物理	2	選択	3・II	講義・演習	0	6	4	1	0	0	0	23	5	6	6	0	1	0	21	7	7	4	0	0	0	44	18	17	11	0	1	0	
49	環境化学Ⅰ	2	選択	3・II	講義・演習	0	6	4	0	0	0	0	23	6	6	5	0	4	1	19	7	7	6	0	0	0	42	19	17	11	0	4	1	
50	微生物工学	2	選択	3・II	講義・演習	0	5	3	2	0	0	0	25	5	4	8	1	1	2	18	7	8	7	0	0	0	43	17	15	17	1	1	2	
51	反応工学	2	選択	3・II	講義・演習	0	4	2	1	0	0	0	22	7	4	8	0	5	0	12	7	10	5	1	0	0	34	18	16	14	1	5	0	
52	環境保全システム工学	2	選択	4・II	講義	0	6	5	2	0	0	0	0	2	2	0	0	0	9	7	7	3	0	0	0	9	13	14	7	0	0	0		
53	廃棄物資源工学	2	選択	4・II	講義	0	6	4	3	0	0	0	0	1	2	2	0	0	0	7	6	6	3	0	1	0	7	13	12	8	0	1	0	
54	学外実習	1	選択			0	6	6	0	0	0	0	0	4	5	3	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	10	13	4	0	0	0		

## アンケート書式

2005年（平成17年）4月14日

資源開発工学科の学生の皆様

資源開発工学科 学科長  
朝倉 國臣

### 教育システム改善のためのアンケート

学生の皆さんにより良い教育サービスを提供する…これが大学の使命です。

このためには、教育の目標や内容・方法について吟味し、その改善のための努力をたゆむことなく続けていく必要があります。そして、この努力を実のあるものとするためには、サービスの受益者たる学生の皆さんの意見を知ることが不可欠です。

以上のような考えから、北海道大学工学部資源開発工学科では、教育システム改善委員会を設置し、学生の皆さんを対象としたアンケートを定期的実施して、その声を教育システムの改善のために反映させていくことと致しました。多少骨の折れるアンケートだとは思いますが、皆さん自身あるいは後輩たちのことを考えて、ご協力下さい。

それでは、以下の質問に対してお答えください。回答は添付した回答用紙の該当個所に記入して教育システム改善委員会に提出してください。

#### 1. あなた自身に関して

(1) あなたの学年・身分は？ 該当するものを選んで記号を○で囲んでください。

(2) あなた（学部学生，大学院生）はどのような進路を考えていますか？

あなた（社会人）はどのようなお仕事に就かれていますか？

例えば、「大学院進学」、「環境関連の研究者」、「建設業界」などのように記入してください。

#### 2. 学習・教育目標(別紙)に関して

別紙の「学習・教育目標(案)」に関して下記の質問にお答えください。回答は回答欄の「はい」「いいえ」いずれか一方を○で囲んでください。「いいえ」を選んだ方は、その理由を（理由： ）欄に記入してください。

*注：抽象的な質問ばかりですが、考え込まず、感じるままに！ Take it easy！*

(1) 本学科の特徴（とあなたが考えるもの）が十分に反映されていますか？

(2) 評価水準や講義の専門性・幅の広さ，教育ポリシーなどは社会の要請（とあなたが考えるもの）に対してほぼ適合していますか？

(3) 本学科の学生の資質（知識レベルなど）に対して適切に設定されていますか？

(4) 本学科の卒業生の進路（学生の方は希望進路）に照らし合わせて適切に設定されていますか？

(5) その他、「学習・教育目標」に関してご意見があれば自由に述べてください。

### 3. カリキュラムに関して

回答用紙中に本学科のカリキュラム表があります。(1)～(4)の質問に対する回答をこのカリキュラム表の回答欄に記入してください。その他の質問に対する回答は回答用紙の該当個所に記入してください。複数回答可能です。受講されていない科目もあるかと思いますが、(2)～(5)の質問に関しては一般的な見地から可能な限りお答えください。(6)～(8)の質問に関しては昨年の後期(10～3月)に受講したもののみ回答してください。

- (1) 受講したことがある科目に○を付けてください。
- (2) 現在あるいは将来、あなたの専門・仕事に直接役立つと考えられる科目に○を付けてください。
- (3) 専門を問わず、技術者・研究者・社会人の一般的素養として必要だと考えられる科目に○を付けてください。
- (4) 現在のカリキュラムにある科目のうち、必ずしも必要とはいえないが選択肢として受講できるようにしておくことは妥当だと思える科目に○を付けてください。
- (5) 現在のカリキュラムにはないが、必要であろうと考えられる科目や学習内容(「こんなことを勉強したい」「世の中に出たときに役に立つのに、なぜないのか」というようなもの)があれば、記入してください。
- (6) 授業の内容・方法等がすばらしかった科目があれば、「科目番号」を記入して「どのようにすばらしかったのか」をできるだけ具体的に述べてください。  
例:「高度な内容にもかかわらず授業の構成が上手で理解しやすかった」「実物に触れる機会が多く、具体的だった」「厳しかったが熱意を感じ、やる気がでた」「質問に対して的確に誠意をもって返答してくれた」「ユーモアにあふれ退屈しなかった」等々
- (7) 授業の内容・方法等に問題を感じた科目があれば、「科目番号」を記入して「どんな問題があったのか」をできるだけ具体的に述べてください。また、「問題の解決法・改善策」について意見のある方は、これについても述べてください。  
例:「むつかしすぎて(勉強したにもかかわらず)ついていけなかった」「簡単すぎる」「シラバスと授業内容が全く異なる」「欠講が多い」「板書をもっと整理すべきだ」「声がきこえない」「駄洒落はいらぬ」等々
- (8) 成績の評価に疑問を感じた科目があれば、「科目番号」を記入し、「その理由」をできるだけ具体的に述べてください。  
例:「ほとんど出席していないのに優だった」「友だちより出席・テストいづれもがいいはずなのに彼は優で私は可だった」「授業に出ていない内容がテストに出た」「成績が入っていない」等々
- (9) その他、「カリキュラム」に関してご意見があれば自由に述べてください。

### 4. 最後の質問です

- (1) 本学科では、教育システムの改善に皆さんの声を生かすため、①本アンケートと②学科ホームページ(<http://rock.eng.hokudai.ac.jp/shigen/index-j.html>)の投稿欄とを設けています。この他に、何かよいアイデアがあれば述べてください。
- (2) その他、学科全般に対するご意見等(例えば、「学科名を@@@に変更したほうがいいのでは」等)があれば自由に述べてください。

ご協力、どうもありがとうございました。

# 教育改善アンケート回答用紙(平成17年)

1. あなた自身に関して

(1) A:学部2年 B:学部3年 C:学部4年 D:大学院生  
E:社会人(技術系) F:社会人(非技術系), G:その他

(2) \_\_\_\_\_

2. 学習・教育目標に関して

(1) はい いいえ (理由: \_\_\_\_\_)

(2) はい いいえ (理由: \_\_\_\_\_)

(3) はい いいえ (理由: \_\_\_\_\_)

(4) はい いいえ (理由: \_\_\_\_\_)

(5) \_\_\_\_\_

3. カリキュラムに関して(質問(1)~(4)への回答は左の表へ記入してください)

(5) \_\_\_\_\_

(6) 科目番号 \_\_\_\_\_

科目番号 \_\_\_\_\_

(7) 科目番号 \_\_\_\_\_

科目番号 \_\_\_\_\_

(8) 科目番号 \_\_\_\_\_

科目番号 \_\_\_\_\_

(9) \_\_\_\_\_

4. 最後の質問です

(1) \_\_\_\_\_

(2) \_\_\_\_\_



科目番号・科目名	単位数	必修・選択の別	学年・学期	講義・演習・実験の別	回答欄				
					(1)	(2)	(3)	(4)	
1	応用数学 I	2	必須	2・I	講義				
2	応用数学演習 I	1	必須	2・I	演習				
3	基礎図形科学	2	必須	1・I	講義・演習				
4	応用図形科学	2	選択	1・II	講義・演習				
5	応用数学 II	2	選択	2・II	講義・演習				
6	システム工学概論	2	選択	3・I	講義				
7	現代物理学概論	2	選択	4・I	講義				
8	エネルギー工学概論	2	選択	2・II	講義				
9	機械工学概論	2	選択	3・I	講義				
10	現代化学概論	2	選択	2・II	講義				
11	生物工学概論	2	選択	3・I	講義				
12	生体工学概論	2	選択	3・II	講義				
13	環境工学概論	2	選択	3・II	講義				
14	都市学概論	2	選択	4・I	講義				
15	材料工学概論	2	選択	3・II	講義				
16	社会工学入門 I	2	必須	1・I	講義				
17	社会工学入門 II	2	必須	1・I	講義				
18	コンピューティング演習(資源)	1	必須	2・I	講義・演習				
19	構造力学 I	2	必須	3・I	講義・演習				
20	土の力学 I	2	選択	3・II	講義・演習				
21	コンストラクションマネジメン	2	選択	4・I	講義				
22	気象学	2	選択	4・I	講義・演習				
23	数値計算法及び演習	1	必修	2・I	講義・演習				
24	地球科学	2	必須	2・II	講義				
25	地球科学実験	1	必須	3・I	実験				
26	応用地質学	2	必須	3・I	講義				
27	物理化学	2	必須	2・I	講義				
28	物理化学演習	1	必須	2・II	演習				
29	固体力学	2	必須	2・II	講義・演習				
30	流体力学	2	必須	3・I	講義				
31	流体工学演習	1	必須	3・II	演習				
32	熱力学	2	必須	2・II	講義				
33	熱力学演習	1	必須	3・I	演習				
34	計測工学	2	必須	2・II	講義・演習				
35	計測工学実験	1	必須	3・I	実験				
36	機械要素及び製図	2	必須	2・II	講義・演習				
37	粉体工学	2	必須	3・I	講義・演習				
38	粉体工学実験	1	必須	3・I	実験				
39	岩石力学	2	必須	3・I	講義・演習				
40	岩石力学実験	1	必須	3・II	実験				
41	資源開発学	2	必須	3・I	講義				
42	地殻システム工学	2	必須	3・II	講義・演習				
43	開発機械学	2	必須	3・II	講義				
44	卒業論文	10	必須	4・II	研究				
45	火薬及び爆破工学	2	選択	4・I	講義・演習				
46	土の力学 II	2	選択	4・I	講義・演習				
47	建設材料学	2	選択	2・II	講義・演習				
48	環境物理	2	選択	3・II	講義・演習				
49	環境化学 I	2	選択	3・II	講義・演習				
50	微生物工学	2	選択	3・II	講義・演習				
51	反応工学	2	選択	3・II	講義・演習				
52	環境保全システム工学	2	選択	4・II	講義				
53	廃棄物資源工学	2	選択	4・II	講義				
54	学外実習	1	選択						